

未来へ挑戦する「杜の都」へ

編集・発行  
仙台市企画市民局総合政策部政策企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1

TEL 022-214-8034

FAX 022-214-1266

Eメール kik002020@city.sendai.jp

URL <http://www.city.sendai.jp/kikaku/seisaku/vision/>

# 創造と交流

## 仙台市都市ビジョン

— 未来へ挑戦する「杜の都」へ —

平成19年1月

仙 台 市



# I. 都市ビジョン策定の趣旨

## 策定の趣旨

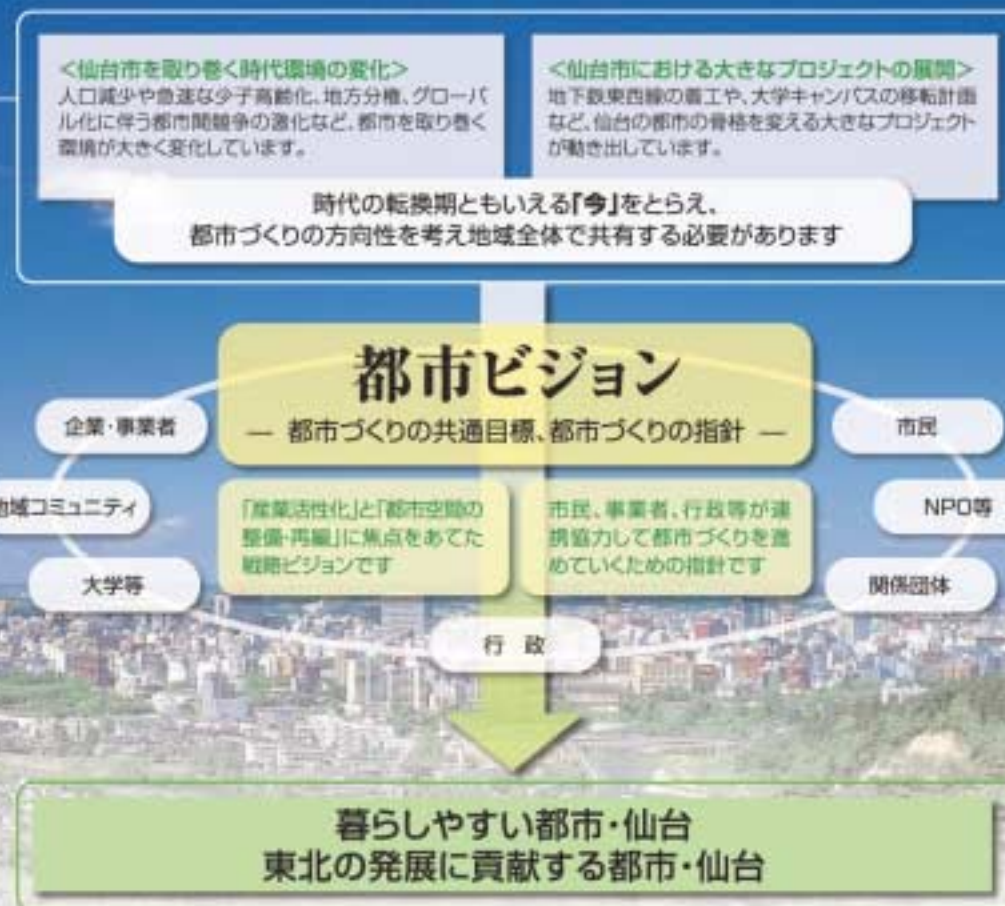
人口減少時代の到来、急速な少子高齢化の進展、地方分権、グローバル化に伴う世界的な都市間競争の激化など、都市を取り巻く環境は大きく変化してきています。一方、仙台市では、地下鉄東西線の着工や大学キャンパスの移転など、都市の骨格を変える大きなプロジェクトが動き出しています。

こうした状況のもと、都市としての持続的な発展のため、特に「産業活性化」と「都市空間の整備・再編」という領域に焦点をあてた戦略的なビジョンとして「都市ビジョン」を策定します。

## 都市ビジョンの位置づけ

都市ビジョンは、都市づくりの究極の目標である「暮らしやすい都市」の実現、さらには東北の中核都市として「東北の発展に貢献する都市」の実現に向けて、仙台の活力と魅力の向上を図っていく取り組みを地域一体となって進めていくというものです。

これからの都市づくりは、市民、企業・事業者、行政等がそれぞれの役割を果たしつつ、相互の連携協力のもと進めていく必要がありますが、都市ビジョンは、活力と魅力に溢れた都市の実現に向けて、市民、企業・事業者、行政等が連携協力して都市づくりを進めていくための共通の目標、指針となるものです。



# II. 本市を取り巻く環境変化と都市づくりの課題

## (1) 人口減少、急速な少子高齢化、社会経済の成熟化

人口減少などの状況は、地域経済や都市活力へ及ぼす影響が懸念されます。交流人口、定住人口拡大に向けた取り組み、新産業創出などによる活力の醸成が必要です。

## (2) グローバル化の進展、アジアの急速な発展とそれに伴う都市間競争の激化

都市間競争の中で選ばれ続ける都市として、高次都市機能の一層の集積や、都市の個性、魅力の向上を図るほか、東北のゲートウェイとして国内外との交流を促進していく必要があります。

## (3) 産業構造の転換、知識社会・知識経済時代の到来

知識、情報が価値を生み出す「知識経済」への移行が進む中、仙台の強みである大学等の知的資源を活かした新産業創出など、付加価値の高い創造的な産業創出を図っていく必要があります。

## (4) ライフスタイルや市民意識・価値観の変化、多様化

これまでの量的充足を重視してきた都市づくりから、市民一人ひとりの生活の質の豊かさを重視した都市づくりが求められています。その中でも市民生活における「安全・安心」の確保が重要です。

## (5) 財政制約、環境制約の強まり

公共部門における財政制約はますます強まることが予想され、また環境負荷の低減といった時代の要請のもと、自動車に過度に依存しない都市構造への転換などが求められています。

## (6) 地方分権の進展、都市づくりにおける制度的枠組みの変革

地方分権が進展し、道州制など新たな地方自治の枠組みが検討されているほか、まちづくり三法の改正など、都市づくりの主体としての地方自治体の位置づけや役割はますます重要となっています。

# III. 仙台の強み・ポテンシャル

これからの都市づくりにおいては、これまでの長い歴史の中で培ってきた仙台の持つ強み、ポテンシャルを再認識し、それを最大限に活用していくことが重要です。





# IV. 都市づくりの理念と方向性



これからの仙台の都市づくりを考えていくとき、仙台の持つ個性、強み、資源などを再認識し、そこから新しい価値を「創造」していくという視点、また、国内外との多様な「交流」の中から都市の活力を生み出していくという視点が重要です。

都市ビジョンでは、「創造」と「交流」という基本理念のもと、次の4つの基本的方向性を提示し、活力と魅力に溢れた都市づくりを進めていきます。

## 基本的方向性.1 「創造」都市



### ～新しい価値の創造に挑戦し続ける都市～

「知識経済」への移行が進む中、都市の競争力や活力を生み出す源泉としての「知的創造活動」を活性化し、市民や企業等の創造性が最大限に発揮される環境づくりを進めていく必要があります。

「学都」としての知的資源の集積や、市民等による芸術・文化活動など、仙台が持つ創造的資源を活かしながら、新しい価値の「創造」に挑戦し続ける都市を目指します。



## ～「創造」と「交流」の場となる都市基盤づくり～

人口減少や財政制約といった時代環境においても、暮らしやすく持続的発展が可能な都市構造への転換を図るとともに、「創造」と「交流」を支え、その舞台となる都市基盤づくり、都市機能の強化が求められており、地下鉄東西線などのプロジェクトが動き出している今という時機をとらえ、こうした取り組みを強化していく必要があります。

「創造」と「交流」を生み出す基盤づくりとして、公共交通体系の充実、機能集約型都市構造への転換を図っていくとともに、都心部の機能強化、地下鉄東西線整備を契機とした東西都市軸の強化、広域交通ネットワークの強化など、東北の発展を牽引する中核都市としての都市機能の高度化を図ります。



## 基本的方向性.3 機能集約型都市の形成



## 基本的方向性.2 「交流」都市



### ～国内外との多様な交流から持続的な活力を生み出し続ける都市～

ヒト、モノ、カネ、情報の「交流」は都市活動の血流ともいえ、その活性化は都市の存立に関わる問題です。これからの人口減少時代においては、交流人口の拡大により域外需要を呼び込み、地域経済の活性化等につなげていくという視点がますます重要となります。

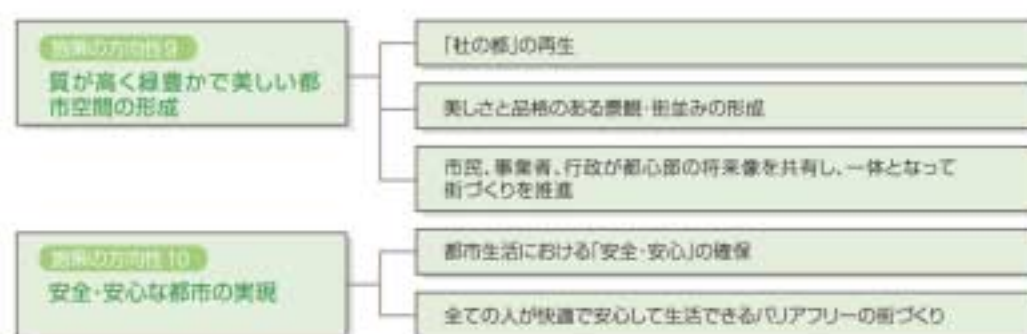
個性と魅力に富んだ都市ブランドの創造、東北の諸都市との連携強化などを通じ、仙台、東北の有する様々な交流資源の魅力を高め、発信し、国内外との多様な「交流」から都市活力を生み出す仕組み、基盤づくりを進めていきます。



## ～質が高く安全で美しい都市空間の形成～

都市は何よりも市民の生活の場であり、様々な観点から「質」を重視した都市づくりを進めていくことで、市民生活の幸福はもとより、「創造」と「交流」を促進する都市空間、都市環境を形成していく必要があります。

都市空間、都市環境の「質」を多様な観点から高めること、特に「杜の都」の伝統に基づいた美しい都市空間の形成や、市民生活の基盤となる「安全・安心」の確保などを、「創造」と「交流」が生み出される基盤づくりとして進めていきます。



## 基本的方向性.4 「杜の都」の再構築





# 基本的方向性1 「創造」都市

## ■施策の方向性1：未来を切り拓く新しい「学都」の創造

### 大学等の知的創造活動を活かした都市の活力創造

大学等の知的創造活動を重要な都市機能と捉え、大学等との連携をより深めながら、人材育成、地域経済活性化など、都市の活力創造につなげていく取り組みを拡充・強化します。

- ◇産学連携や「学都仙台コンソーシアム」の取り組みの拡充
- ◇国際的な学術会議などの積極的な誘致・開催による大学等の知的創造活動を介した世界との交流の促進
- ◇国際的な学術文化交流拠点としての青葉山地区のコンベンション機能充実

### 街づくりにおける大学等との連携強化による新しい学都の創造

大学キャンパス移転や地下鉄東西線整備などを契機とし、街づくりにおいても大学等との連携を図り、世界に誇りうる、市民に開かれた美しい「学都」の創造を目指します。

- ◇大学キャンパス移転、地下鉄東西線整備、青葉山公園整備などを連動させ、学術と交流、自然と歴史、多様な都市機能、文化などが融合した新しい「学都」づくりの推進



▲東北大学青葉山キャンパス計画案  
資料：東北大学ホームページ

## ■施策の方向性2：地域経済の成長エンジンの創造による自立的産業基盤の確立

### 大学等の知的資源を活かした新産業クラスターの創成

「学都」の知的資源の集積を最大限に活用し、産学連携の取り組みを強化しながら、技術革新と付加価値の高い新産業創出が連鎖的に起こる新産業クラスターの創成を目指します。

- ◇MEMS(微小電気機械システム)分野における高付加価値産業群の創出
- ◇高齢社会を産業面から支える医療・健康福祉産業群の創出



▲MEMSパークコンソーシアムの仕組み

### 特色があり力強い地域産業基盤の形成

中小企業の経営基盤の強化、域外企業や新産業との連携等による技術革新、経営革新、新たな事業展開などを支援し、地域産業の競争力を強化し、特色ある力強い地域産業基盤を形成します。



▲専門家派遣での支援風景

- ◇ベンチャー企業、意欲的な中小企業に対する総合的できめ細かい経営支援
- ◇地産地消の推進や、市内の農産物等を活用した新商品づくりなどを行う新たなアグリビジネスの展開を支援

## ■施策の方向性3：芸術・文化の創造性を活かした新しい都市の個性と活力の創出

世界に発信する都市文化の育成、都市の文化的魅力の向上  
様々な文化芸術イベント等の充実を図るとともに、芸術文化の創造性を杜の都の美しい都市空間形成などとも連動させ、世界に発信できる都市文化の育成、都市の文化的魅力の向上を図ります。

- ◇「楽都」「劇都」など、芸術・文化の発信都市としての取り組みの強化
- ◇市民が身近に芸術・文化に触れ、参加できる機会の増加、芸術・文化による街の魅力と活力の向上



▲仙台国際音楽コンクール

芸術や文化の創造性を活かした仙台独自の創造的産業の振興  
デジタルコンテンツ、映像、プロダクトデザインなどの創造的産業を育成・強化するとともに、それらの連携により高い相乗効果を生み出す仙台独自の創造的産業の集積の形成を目指します。

- ◇芸術・デザイン等の創造的活動をテーマとした地域再生活動の支援
- ◇仙台独自の創造的産業クラスター(クリエイティブ・クラスター)の形成



▲仙台デザインウィーク

[注] ◇として掲げている取り組みは、代表的なものです。

# 基本的方向性2 「交流」都市

## ■施策の方向性4：仙台ブランドの創造と発信による集客・交流の促進

### 個性と魅力に富んだ仙台ブランドの創造と発信

仙台の歴史や伝統に根ざした都市個性、美しい自然や景観、四季折々の祭りやイベントなど、仙台の魅力を構成する様々な交流資源を育て、仙台ブランドを確立し、内外に発信します。

- ◇七夕、光のページェント、定禅寺ストリートジャズフェスティバルなどのイベントの充実・支援
- ◇仙台の魅力となる資源(食、物産等)を発掘・商品化・PRし、新たな仙台ブランドを創造



▲定禅寺ストリートジャズフェスティバル▲

### 幅広く「交流」を促進する基盤づくり

「交流」を幅広く促え、人が集まり交流しやすい都市構造や来訪者に優しい都市施設の整備、「おもてなし力」の強化や魅力ある都市空間の形成など、ハードソフト両面で「交流」を促進する基盤づくりを進めます。

- ◇良好な歩行者空間の整備などによる中心商店街を中心とした周遊性の向上
- ◇誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの交流基盤施設(都市施設、多言語案内標識等)の整備



▲るーぶる仙台

### 東北の諸都市との連携による効果的なプロモーション活動の展開

東北の諸都市・地域が有する豊かな自然や文化、観光資源、産業集積など、多様な交流資源との連携や、東北のゲートウェイ都市としての機能強化などにより、東北全体の集客・交流の促進を図ります。

- ◇東北各地域の観光拠点と連携した魅力的な広域観光ルートの開発や観光プロモーション等の共同実施
- ◇地域・関係者が一体となった戦略的な観光キャンペーンやコンベンション誘致の展開



東北7県のネットワーク▶

## ■施策の方向性5：世界に開かれた国際都市・仙台の実現

### 本市の特性を活かした戦略的な国際化の推進

大学等における知的創造活動、杜の都の良好な都市環境、芸術・文化など、本市の個性と魅力をアピールできる分野において、成長著しいアジアや世界の諸都市・地域とのネットワークを形成するとともに、これらの都市・地域との交流の成果を、都市の活力や市民福祉の向上につなげる戦略的な国際化を推進します。

- ◇産学連携などをテーマとした相互協力的な海外との都市間連携の推進
- ◇国際的なスポーツ・芸術・文化イベントの積極的な誘致・開催



産業・健康福祉分野におけるフィンランドとの交流▶

### 世界に開かれた東北のゲートウェイ都市としての機能強化

仙台空港、仙台港の利活用促進や機能強化、コンベンション機能の充実、総合的な国際化支援体制の整備などにより、世界と東北を結ぶゲートウェイ都市としての機能強化を図ります。

- ◇積極的なエアポートセールスの展開、仙台空港アクセス鉄道の利点を活かしたツアー企画などによりアジアをはじめ海外諸都市と直接交流できる空路を拡充
- ◇仙台国際貿易港の利活用促進、仙台港背後地整備との連携による仙台港全体の機能強化



▲仙台空港の航空ネットワーク ▲仙台国際貿易港の国際コンテナ定期航路

[注] ◇として掲げている取り組みは、代表的なものです。



## 基本的方向性3 機能集約型都市の形成

### ■施策の方向性6：機能集約型都市構造への転換

#### 公共交通軸を中心とした機能集約型都市の形成

既存の都市資源を活かしながら、鉄道などの公共交通軸に都市機能を集約した市街地を形成し、公共交通を主な移動手段として機能の連携を図る「公共交通を中心とした機能集約型都市」への転換を実現します。

- ◇地下鉄東西線整備の質実な推進
- ◇公共交通軸上への計画的な市街地形成と市街地の外延的拡大の抑制



▲鉄道系交通軸を基軸とした集約型市街地

#### 都市機能の適正な立地誘導

国際社会や広域ブロック圏を念頭に置いた高次都市機能の集積を図る中核拠点、広域的な生活の拠点となる広域拠点、日常生活を支える地域拠点など、各拠点に必要な機能を誘導し、バランスの取れた重層的な都市構造を形成します。

- ◇郊外部等における大規模集客施設の立地の規制、都心や拠点等への立地誘導
- ◇鉄道駅など地域拠点周辺への商業業務、医療福祉、文化などの都市機能の立地誘導



▲地域拠点周辺における機能集積

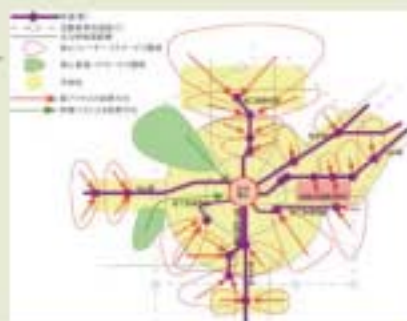
### ■施策の方向性7：公共交通を中心とした交通体系の構築

#### 利便性の高い公共交通網の形成

都市機能の適正な立地誘導を図る土地利用施策と連携した公共交通戦略を推進し、自動車に過度に依存しなくて済む利便性の高い公共交通を中心とした交通体系を構築します。

- ◇公共交通の利用促進や自動車からの転換を図るための戦略プラン策定
- ◇鉄道駅の結節機能の強化(駅前広場、駅へのアクセス道路の整備、バス網の充実等)

将来公共交通ネットワーク▶



#### 都心交通政策の推進

都心の顔であり、「創造」と「交流」の基点ともなる都心の交通環境の向上を図り、魅力と活力に溢れた都心にふさわしいまちなか空間を創出します。

- ◇仙台駅北駅東西を結ぶ自由通路の整備
- ◇仙台駅周辺におけるシンボルとなる空間の整備、高速バスも含めたバスターミナルを核とする仙台駅西口駅前広場の再編

### ■施策の方向性8：世界と交流し、東北の発展を牽引する都市機能の高度化

#### 都心の再生と機能強化

都心の顔である都心において、東北における中核性と都心の魅力、賑わいを高めるため、交通、都市空間形成、産業、芸術・文化、国際化などの各種施策が一体となり、中核的・広域的な都市機能の集積と高度化を図ります。

- ◇ガイドラインの策定による魅力と賑わいを高める建築物の誘導
- ◇仙台駅周辺の再開発等による「都心の玄関口」にふさわしい都市機能への更新と回遊性の向上



ペDESTリアンデッキの回遊ネットワーク▲

#### 東西都市軸・広域拠点の強化

あすと長町や仙台港背後地などの広域拠点の都市機能の高度化を図るとともに、地下鉄東西線沿線において「創造」と「交流」を生み出す多様な都市機能の集約と相互の連携を図り、仙台の未来を切り拓く「東西都市軸」を強化していきます。

- ◇地下鉄東西線の整備効果を活かした各駅周辺の街づくり推進
- ◇高次都市機能の集積を促進する幹線道路や駅前広場の整備(あすと長町地区)



地下鉄東西線(西公園周辺)のイメージ▲

#### 広域交通ネットワークの強化

東北の中核都市として東北各地の主要拠点間の交流を促進し東北の発展に貢献するとともに、国際的な都市間競争に対応していくため、仙台国際貿易港や仙台空港への交通アクセスを確保していくほか、高速道路や新幹線などの広域交通ネットワークの強化など、東北における広域拠点機能の充実を図ります。

- ◇仙台空港アクセス鉄道開業も踏まえた利便性の高い交通環境づくり
- ◇東北各地と仙台都心部を結ぶ高速バス網の利便性等の強化を図る高速バスターミナルの整備



仙台空港アクセス鉄道(仙台空港駅)▲

[注] ◇として掲げている取り組みは、代表的なものです。

## 基本的方向性4 「杜の都」の再構築

### ■施策の方向性9：質が高く緑豊かで美しい都市空間の形成

#### 「杜の都」の再生

仙台の最大のブランドである「杜の都」を世界に誇れるものとするため、道路空間の再構成、公園整備、市民参加による民有地緑化、市街地と農地、自然のバランスを考慮した市街地形成などを総合的に推進し、杜の都の再生を図ります。

- ◇道路空間の再構成等による都心の緑の増加
- ◇各種の公園計画と併せた「緑の回廊づくり」の推進
- ◇歴史・文化や自然景観を活かした公園整備(青葉山公園、西公園)



▲都心の目指す緑の姿

#### 美しさと品格のある景観・街並みの形成

仙台の歴史と伝統に培われた美しさと品格を感じさせる景観・街並みの形成や、歴史性を活かした街づくりを、都市計画や景観形成、中心市街地活性化、芸術・文化、コミュニティ活性化などの領域が一体となって進めます。

- ◇都市個性をアピールする景観の形成に向けた「景観計画」の策定
- ◇都市計画と景観施策との連携による市街地環境の改善と個性ある美しい都心の街並み形成



▲美しく賑わいのある街並み

#### 市民、事業者、行政が都心部の将来像を共有し、一体となって街づくりを推進

歴史と伝統を有し、都市アイデンティティの基点とも言える都心部において、関係者が街づくりの将来像を共有し、一体となって街づくりを進めていきます。

- ◇中心商店街周辺の通りなどにおける回遊性を高めるため、来街者や景観にも配慮した良好な歩行者空間を整備



▲都心部における電線類地中化の取り組み



▲都心部における電線類地中化の取り組み

### ■施策の方向性10：安全・安心な都市の実現

#### 都市生活における「安全・安心」の確保

地震など自然災害や大規模な事故等の都市災害に対する都市防災基盤の整備、感染症、食の安全など市民の健康被害を防ぐ取り組みや、都市全体の犯罪抑止力の向上などを図るとともに、都市全体としての危機管理能力を高め、あらゆる面から市民生活の「安全・安心」の確保を図ります。

- ◇宮城県沖地震などの災害に備え、防災システムの高度化、公共施設等の耐震化、自主防災組織の育成などを総合的に推進
- ◇感染症や食品の安全など市民の健康被害を予防し、被害の拡大を最小限に抑える取り組みの徹底



▲総合防災訓練

- ◇家庭と地域社会、関係機関等との連携による市民の防犯意識の向上と犯罪が起きにくい環境づくりを推進

#### 全ての人が快適で安心して生活できるバリアフリーの街づくり

少子高齢化の進展を見据え、高齢者や障害者などが安心して生活し、自己実現を図ることができるバリアフリーの街づくりを、ハード、ソフト両面から充実させていくとともに、都市の未来を担う子供たちが健やかに安全で暮らすことのできる環境づくりを進めるなど、全ての人が快適で安心して生活できる環境づくりを進めます。

- ◇公営施設のバリアフリー化、都市空間形成、交通などの面からのバリアフリーの街づくりの推進
- ◇全ての市民が利用しやすい「ユニバーサルデザイン都市」としての環境整備



▲バリアフリーの街づくり  
資料：ひとにやさしいまちづくり推進協議会

[注] ◇として掲げている取り組みは、代表的なものです。



# V.都市ビジョン実現のための仕組み

## 都市政策の総合的展開

都市が抱える課題の多くはひとつの取り組みで解決できるものではありません。都市づくりの共通の目標のもと、産業振興、芸術・文化、都市計画、都市空間形成などの都市政策を融合し、一体となって展開していく必要があります。

## 都市経営という視点からの取り組み

福祉関係経費や既存の都市施設の維持更新経費の増大が見込まれるなど、都市財政がますます厳しくなっていく必要があり、行財政改革の推進や公共投資の厳選と効率化を図るほか、官民の連携協力による取り組みなどを一層拡大していく必要があります。

## 多様な主体の連携による都市づくり

都市ビジョンは、都市づくりを担う多様な主体が共有できる共通目標、取り組みの指針として提示するものです。それぞれの役割分担を明確にしつつ、各主体間の連携協力により、ビジョン実現に向けた取り組みを実践していくための仕組みを構築していきます。



## 人材育成

都市づくりの担い手は、多様な主体が関わっていますが、基本は「人」です。仙台をより住みやすく、誇りの持てる都市にしたいという情熱を持ち、様々な領域で都市づくりに積極的に参画していく担い手の育成が、都市ビジョン実現に向けても不可欠の要素です。

## 都市ビジョンに基づく取り組みの進行管理

ビジョン実現に向けた取り組みを着実に推進するため、新実施計画（平成19年度～22年度）において、主な取り組みごとのスケジュールや目標などを明確にし、進行管理を行っていきます。

## 用語解説

### ア行

#### アグリビジネス

農業関連産業の意。食品加工業や農業機械、流通、販売、マーケティングなど農業に関わる幅広いビジネスを意味する。

#### エアポートセールス

航空路線の誘致活動。

### カ行

#### 「楽都」、劇都

音楽の都「楽都仙台」、演劇の都「劇都仙台」を目指す本市の芸術文化振興事業の取り組みの総称。

#### 学都仙台コンソーシアム

仙台圏の各大学等が持つ様々な資源を活用し、市民・企業・行政とともに手を携えて、「学都仙台」のブランド力向上、地域社会の発展を目指し、大学等、商工会議所、市など26団体で構成する組織として設立。サテライトキャンパスや単位互換、「学都仙台」のブランド力向上のための広報活動などが展開されている。

#### クラスター(cluster)

群れ、集団、ぶどうの房(ぶさ)などの意味。「産業クラスター」という場合、特定の産業分野について、原材料・部品調達、生産、流通、販売などの関連企業や、大学等の研究開発機能、金融をはじめとする産業支援機能が地理的に集中し、それらが統合しながら有機的に結びつき、総体として競争力のある産業群が形成されている状態を指す。

#### クリエイティブ・クラスター

本市が進めている産業振興施策の一つ。ITやコンテンツ等の新産業とデザインや印刷等の既存産業との連携を推進することをはじめとして、最終的には文化・芸術活動などとの融合をはじめ、創造的な活動に従事する人々を本市に集中させる。これにより、新産業の創造と既存産業の高付加価値化を図り、仙台独自の創造的な産業クラスターとして育成することをねらいとする。

#### ゲートウェイ

全国各地や海外とのネットワークの窓口、玄関口としての役割、機能を指す。国際空港、国際貿易港などが代表的なものとしてあげられ、鉄道網や高速パスのターミナルとしての機能などもあげられる。

### コンベンション

大会、会議、式典など、ある目的で多くの人々が集まる催しのこと。

### サ行

#### 創造的産業

本ビジョンでは、個人や大学、企業などの創造的なアイデアや知識、技術、芸術性などを基とした、付加価値の高い、競争力のある産業群を指している。例として、大学等の知的資源を活用した新しい産業や、芸術・文化などの創造性を活かした産業などがあげられる。

### タ行

#### 大学のキャンパス移転

現在、東北大学の青葉山新キャンパス整備計画とあわせ、同大学の両宮キャンパス、片平キャンパスの一部が青葉山地区へ移転する計画などが進められている。

#### デジタルコンテンツ

デジタルデータで表現された文章、音楽、画像、映像や、それらを組み合わせた情報を指す。高速大容量のインターネットが普及する中で、デジタルコンテンツ関連の産業は高い成長性が期待されている。

#### 道州制

現在の都道府県に代えて、より大きな規模の「道州」を新たに設置することにより、現在、国が行っている業務のうち、国でなければできないもの（外交や国防など）を除いては、基本的に「道州」に基礎自治体である市町村で担っていく形にしようとするもの。

#### 都市構造

都市の骨格となる交通網や、都市として必要な都市機能の配置、土地利用などの総体を指すもの。

### ハ行

#### バリアフリー

高齢者や障害者などを含めた、誰もが暮らしやすい社会をつくるという考え方。狭義では、公共施設・公益施設などにおいて、段差などの物理的な障壁や不便を取り除くという意味合いであったが、本ビジョンではそうしたハード面のみならず、すべての人が暮らしやすい社会づくりという考え方に広げて用いている。

### プロダクトデザイン

工業製品や家電製品、建築設備などの形態や意匠、設計のこと。消費者ニーズの高度化・多様化が進む中、人とモノ(製品)との新たな関係を構築し、創造性溢れる製品開発へつなげていくプロダクトデザインの重要性は高まっており、成長産業としても期待されている。

### マ行

#### まちづくり三法

都市計画法、中心市街地活性化法、大規模小売店舗立地法の三法を指す。このうち都市計画法と中心市街地活性化法が改正され、都市の郊外部等への大規模集客施設の立地規制の強化や中心市街地活性化の取り組みの強化などの制度改革が進められている。

#### 「緑の回廊づくり」

本市が進めている「百年の杜づくり」の一環として進めている取り組み。JR仙台駅を中心に、半径2km程度の圏内を重点的に緑化を図るもの。

#### MEMS(微小電気機械システム)

Micro Electro Mechanical Systemの略で、半導体の微細加工技術を利用して製作された微小な部品から構成される電気機械システムを指す。次世代のエレクトロニクス産業および各種製造業における基盤技術として、環境分野、医療福祉分野などへの広い応用が見込めることから、ナノテクノロジー(超微細な世界を取り扱う技術)分野における東北大学の知的資源の蓄積などを活かして、新産業の創出などが期待されている。

#### MEMSパークコンソーシアム

MEMS技術を始め、仙台地域の様々な知的資源を活かし、基盤技術の確立から製品化技術全般までを視野に入れた、付加価値の高いものづくりを実現していくことを目的に、産学官の関係者により設立された連携組織。

### ヤ行

#### ユニバーサルデザイン

「すべての人のためのデザイン」を意味する。障害の有無や世代、国籍や文化的背景の違いに関わらず、全ての人にとって使いやすい製品、建築物、環境をデザインすること。

## 都市ビジョン策定経過

年 月 日	内 容
平成18年 6月 1日	第1回仙台都市ビジョン会議全体会合 ○都市ビジョン策定の趣旨について
6月20日	第1回仙台都市ビジョン会議作業部会 ○都市ビジョンの位置づけについて
7月31日	第2回仙台都市ビジョン会議作業部会 ○今後の都市づくりの方向性について
8月29日	第2回仙台都市ビジョン会議全体会合 ○都市ビジョン骨子案について
10月10日	第3回仙台都市ビジョン会議作業部会 ○都市ビジョン(中間素案)について
10月26日	第3回仙台都市ビジョン会議全体会合 ○都市ビジョン(中間案)について
11月10日～12月 8日	パブリックコメントの実施
12月20日	都市ビジョンシンポジウムの開催(せんだいメディアテーク)
12月21日	第4回仙台都市ビジョン会議全体会合 ○パブリックコメントへの対応について
平成19年 1月25日	第5回仙台都市ビジョン会議全体会合 ○都市ビジョン(最終案)について
1月30日	仙台市都市ビジョン策定